

通院困難者の支援と介護施設入居対策の 福腎協の取り組みについて中間報告

令和5年1月13日 福腎協事務局発信

●令和4年7月に福腎協透析会員の実態調査を行いました。その結果をもとに、9月から高齢者問題の取り組みを開始しました。以下に実態調査から会員や家族の声を抜粋して紹介します。

- ①「透析している夫の体調がだんだん悪くなり 2月より入退院をくりかえしていましたが足がたたなくなりました。老老生活のために施設に入居することにしましたが透析病院周辺の施設は受け入れてもらえなくて、病院を転院して遠くの施設に入居できました。しかし透析をやめたいと言いたしたのですが、コロナで面会もできずに、透析中に息を引き取りました」
- ②「透析をしている母が認知症で、家族としては出来るだけ通院透析を続けてあげたいと思っていますが、自宅での介護は本当に大変です。気力体力勝負です！」
- ③「透析者が入所できる介護施設が少なく不安でしかたない」
- ④「毎月の通院交通費が9万円かかります」

●行政に要望しているのは以下の2点

(要望1) 透析患者の通院支援のお願い

透析患者は、週に3回透析病院に通院することで生命が保たれています。しかし高齢化の中で通院が困難な患者が増えるだけでなく、近年は新規に透析導入する患者が最初から通院支援が必要な状況です。通院支援がない状況のなかでは社会的入院となり、国や県の医療費負担が増大しかねません。患者の命を守ることと、行政（健康保険）の医療費支出軽減を視野に、通院支援のご検討をお願いします。

(要望2) 透析患者の介護施設入所受け入れのお願い

要介護高齢透析患者の増加で、終の棲家としての介護関連入居施設の重要度が増す一方、入居を必要としている透析患者の施設への受け入れが進んでいるとは言えません。介護施設側が抱く不安や諸問題を解決すべく、介護と医療の連携改善を図れるようご尽力ください。

「福岡県透析医会」（会長 金井英俊先生）では、介護と医療の連携改善を図る目的で、2018年6月に「介護入居施設側からみた透析患者や透析医療に関する意識および実態調査」を、県内2,418施設対象に実施されました。そのなかで介護施設側からの意見として「透析に関する勉強会を期待するが41.5%」「透析の見学を希望するが47.7%」の回答があがっていました。医療側、介護施設側のこのような意向を具体化できる機会を検討いただくことが、透析患者の介護施設入居問題の解決の一步となると考えます。

●活動の経過

福岡県透析医会では2014年から5回にわたり要介護問題の実態調査を実施され論文にもされていきましたので、まずは福岡県透析医会の介護関係担当理事を訪問してレクチャー受けることから活動をスタートしました。

- 9/29 福岡県透析医会理事村石昭彦先生訪問しレクチャー受ける（森満理事・柳原副会長・中島事務局長）
- 10/18 （一社）福岡市老人施設協議会へ、透析患者の実態を伝える機会を設けてほしいとの**お願い文を提出**
- 11/3 村石先生再度訪問しレクチャー受ける（県議会議員・中島・伊藤ブロック長・今村ブロック長）
- 11/27 公明党政策要望懇談会に通院支援と入所問題の**要望2件提出し懇談会で要望する**
- 12/5 福岡県介護保健課を訪問して2件の**要望を説明**する（係長ほか1名・中島・西田事務局長）
- 12/13 福岡県議会において議員が**知事に一般質問**し、知事から以下の回答を得る

12月議会報告 新開昌彦の一般質問

透析患者の介護施設入所支援を推進 全国初の取組を開始！



●透析患者は、県内1万5千人を越え、約7割が高齢者。透析医会の調査で介護施設が透析患者受入れに不安が多いことが判明●県が中心となり透析医会、介護施設、患者の会との情報交換を行い透析患者の介護施設入所の環境を整えるべし。と質問。●知事は、『**医療と介護の連携を促すことで透析患者の介護施設への受け入れが進むよう努める**』と答弁。**全国初の取組**が動き始めました。

- 12/14 福岡県介護保健課監査指導第一係から監査指導監と係長が来所し**要望内容の説明を求められる**
- 12/26 福岡県介護保険課担当者が村石先生を訪問し**レクチャーならびに調整**を図られることになり、福腎協役員等が同行した。（町田・中島・添島・西田）
- 12/26 透析施設のソーシャルワーカーに電話で問い合わせをする。要介護3以上で入所希望者の実態について。「北九州市では透析患者は特養には入所はできない。解決策として入所加算がつくようになるのではないだろうかとの意見を得る」
- 2/8 **第1回目の福腎協・県老施協の協議**に向けて、会長・特別養護老人ホーム部会長と打ち合わせの予定（福岡県介護保険課・県老人福祉施設協議会・福腎協の三者にて）
- 3/15 **福岡県老人福祉施設協議会の定例総会**対面とオンラインの併用で開催にて、福岡家透析医会の先生・看護師・技士・栄養士らが出席して説明する時間を確保してもらう予定（昨年は対面が30人、オンラインが50人）

お願い：介護透析患者の困っている実態があったら、どんなことでも事務協まで情報提供をお願い致します。いただいた情報については守秘義務を果たします。